

序	I		
■第I部■物理学論文選	1		
1. 流体力学のEulerの方程式に新しい抵抗の項を加える一つの試み	2	15. Separation of Isotopes by Thermal Diffusion, II. Separation of Chlorine Isotopes	210
2. 擬似周期について	6	16. 場の理論における変分原理について	219
3. たどんについて	23	17. 中性子の減速について	254
4. 座標および運動量の測定から量子状態は唯一つに定まるか?	25	18. 蜂の巣格子および三角格子の統計力学 (原著英文)	267
5. 不規則な外力にさらされた振動系 (原著英文)	27	19. An Algebraic Theory of the Density Matrix, I	278
6. 「不規則な外力にさらされた振動系」への補遺 (原著英文)	47	20. クラスター積分に関するマイヤーの理論について (原著英文)	289
7. Excitation of Gamma-Rays by Neutrons. IV	59	21. Miscellanea in Elementary Quantum Mechanics, I	296
8. 量子力学の基礎の研究 (原著英文)	83	22. 初等量子力学の諸問題, 第II報 (原著英文)	303
9. On the Central Limit Theorem of Statistical Mechanics	122	23. Miscellanea in Elementary Quantum Mechanics, III	327
10. 数理経済学と熱力学——均衡理論としての形式的類似について——	131	24. 凝縮の統計力学 (原著英文)	345
11. 量子力学におけるエルゴード定理のv. Neumannの証明について	137	25. Theory of Density Matrices	350
12. The Phase Integrals and Thermodynamics	141	26. Hydrodynamical and Collective Description	366
13. Partitio Numerorumと核物理学	155	27. Collision Cross-Section and Reciprocity Relation on the Collision Process in the Kinetic Theory of Gases	381
14. 密度行列のいくつかの形式的性質について (原著英文)	160		
		伏見康治 物理学論文リスト	385

■第Ⅱ部 ■ 原子力論	389
第1章 原子力の開発へ：準備のとき	390
第2章 茅・伏見提案と第39委員会の発足	397
第3章 Atoms for Peace	413
第4章 原子力憲章——公開・民主・自主の3原則	415
第5章 原子力平和利用攻勢にどう対処するか	420
第6章 米から原子力平和利用使節団	423
第7章 日米原子力(研究)協定	429
第8章 英からHinton卿来日, 発電炉早期輸入へ方針転換	436
第9章 原子炉の安全性に関心高まる	439
第10章 日米, 日英動力協定	444
第11章 核融合研究へ	450
第12章 なお残る核分裂炉の問題	453
第13章 原子力船「むつ」の事故から原子力安全委員会の設置まで	459
第14章 “自主”の原則はどこに消えた	466
原子力年表	469
第Ⅱ部 引用文献	475
伏見康治による原子力関連文献リスト	476